交付運用報告書

日立国内債券インデックスファンド

追加型投信／国内／債券／インデックス型

第 23 期
(決算日 2024 年 5 月 15 日)

作成対象期間：
(2023 年 5 月 16 日～2024 年 5 月 15 日)

第 23 期末(2024 年 5 月 15 日)	
基準価額	12,004 円
純資産総額	12,014 百万円
第 23 期	
騰落率	△4.2%
分配金合計	0 円

日立投資顧問株式会社
東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号

〈交付運用報告書に関するお問い合わせ先〉
企画総務グループ　TEL：(03)5539－2578
受付時間：9：00～17：00
土、日、祝日および 12 月 31 日～1 月 3 日を除く
ホームページアドレス　http://www.hitachi-im.co.jp

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「日立国内債券インデックスファンド」は、このたび、第 23 期の決算を行いました。

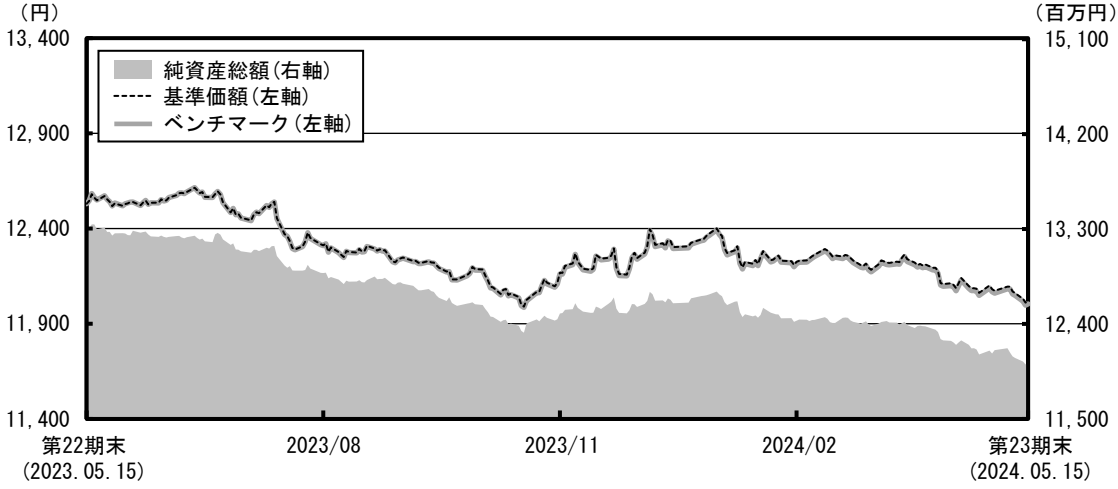
当ファンドは、国内債券を実質的な主要投資対象として中長期的に信託財産の成長を目指して運用を行うことを基本とし、NOMURA-BPI 総合(ノムラ・ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)をベンチマークとして、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告いたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めています。「運用報告書(全体版)」は、右記ホームページアドレスの「ファンド情報」から、ご覧いただけます。運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付を請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

運用経過

基準価額等の推移



※当ファンドは分配を行っておりませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。
※ベンチマークは、NOMURA-BPI 総合指数です。ベンチマークは、2023 年 5 月 15 日の値が基準価額と同一となるように計算しております。

第 23 期首：12,530 円
第 23 期末：12,004 円(既払分配金 0 円)
騰 落 率：　△4.2%(分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

23年末にかけて、海外に連動して金利低下したことやクレジットスプレッドの縮小がプラスに影響しました。

＜下落要因＞

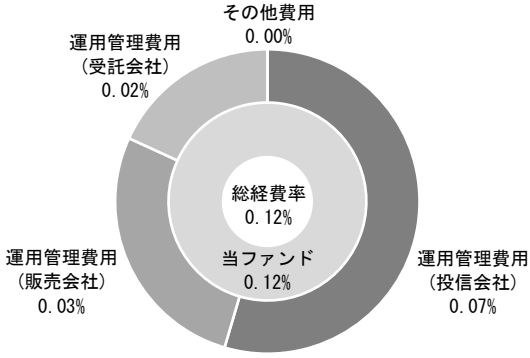
日銀がイールドカーブ・コントロール政策やマイナス金利政策を撤廃し、国内金利が上昇したことがマイナスに影響しました。

１万口当たりの費用明細

項　目	当　期 (2023.5.16～2024.5.15)		項 目 の 概 要
	金　額	比　率	
(a) 信 託 報 酬	15 円	0.121%	信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は 12,269 円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.066)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(4)	(0.033)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝〔期中のその他費用〕÷〔期中の平均受益権口数〕
(そ　の　他)	(0)	(0.000)	
合　計	15	0.121	

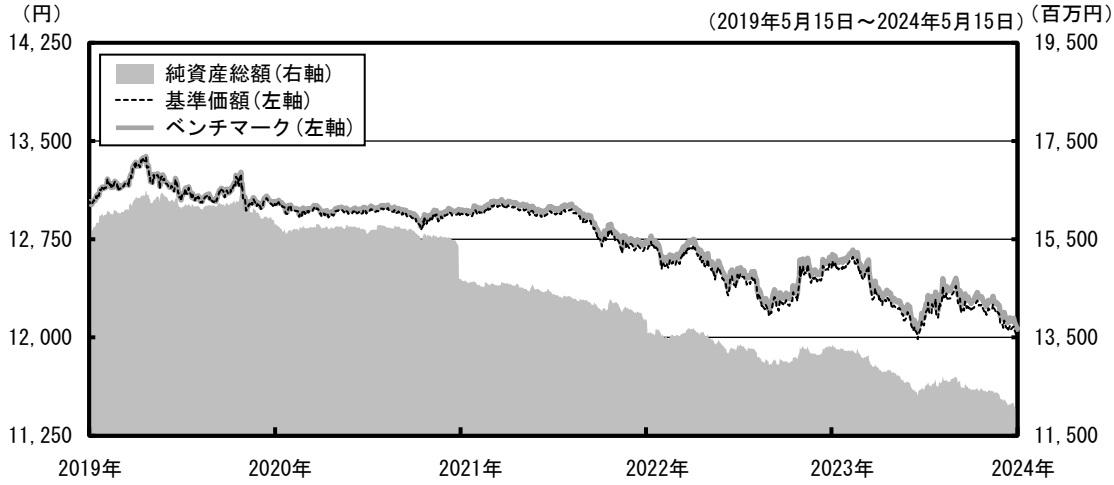
(注 1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注 2) 「比率」欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。
(注 3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注 4) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

＜参考情報＞
○総経費率
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は 0.12%です。



(注)当ファンドの費用は 1 万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注)各比率は、年率換算した値です。
(注)当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
(注)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移



※当ファンドは分配を行っておりませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。

		2019年5月15日 決算日	2020年5月15日 決算日	2021年5月17日 決算日	2022年5月16日 決算日	2023年5月15日 決算日	2024年5月15日 決算日
基準価額	（円）	13,022	13,009	12,945	12,684	12,530	12,004
騰落率	（%）	―	△0.1	△0.5	△2.0	△1.2	△4.2
ベンチマーク騰落率	（%）	―	0.0	△0.4	△1.9	△1.1	△4.1
純資産総額	（百万円）	15,651	15,792	14,676	13,855	13,300	12,014

（注１）ベンチマークは、NOMURA-BPI総合指数です。ベンチマークは、2019年５月15日の値が基準価額と同一となるように計算しております。
（注２）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。

投資環境

当期の国内長期金利は上昇となりました。日銀は7月と10月の金融政策決定会合において、イールドカーブ・コントロール運用の柔軟化を決定したことで、10月末にかけて長期金利は一時0.9%台半ばまで上昇しました。11月以降は、ＦＲＢの将来的な利下げが意識される中、米国債券利回りの低下に連動する形で金利低下しましたが、1月以降は日銀による利上げ期待が高まる中、再び金利上昇基調となりました。3月の金融政策決定会合において、日銀は物価安定の目標が持続的・安定的に実現していくことが見通せる状況に至ったと判断し、マイナス金利政策やイールドカーブ・コントロール政策を撤廃しました。

年限別にみると、超長期金利の上昇幅が大きく、イールドカーブはスティープニングしました。

スプレッド市場は、グローバルにリスク資産が堅調推移する中で、本邦社債スプレッドについても円建外債や事業債を中心にクレジットスプレッドの縮小がみられました。

当期の国内債券市場はＮＯＭＵＲＡ―ＢＰＩ総合指数ベースで▲4.1%となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

＜当ファンド＞

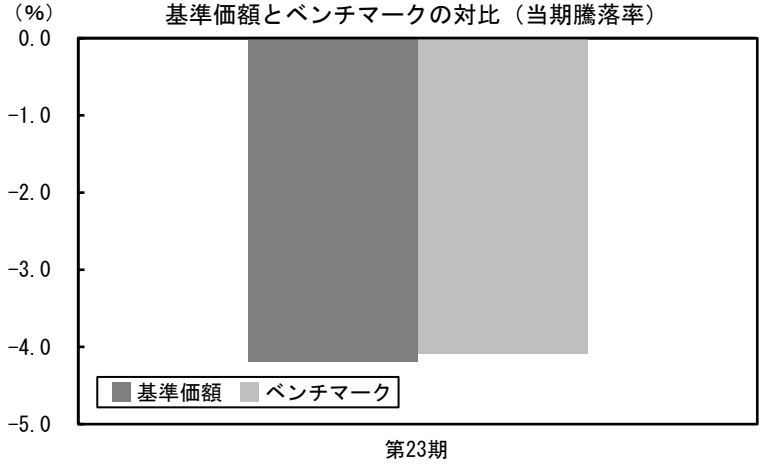
日立国内債券インデックスマザーファンドへの投資を高位に保つ運用を行いました。

＜日立国内債券インデックスマザーファンド＞

わが国の公社債を主要投資対象とします。具体的には、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ総合指数をベンチマークとし、ベンチマークに連動する収益率の実現を目指すインデックス運用を行いました。

基準価額とベンチマークの差異について

当ファンドの基準価額は前期末の12,530円からＮＯＭＵＲＡ―ＢＰＩ総合指数とほぼリンクして動き、12,004円で今期末を迎えました。通期の基準価額騰落率は▲4.2％となり、ベンチマーク騰落率▲4.1％にほぼ追随したパフォーマンスとなりました。当ファンドから信託報酬の支払いが行われたことがベンチマークを下回る主な要因となりました。



分配金について

運用による収益は、投資信託財産内に留保し、期中には分配を行いません。

今後の運用方針

当ファンドはパッシブファンドのため、ベンチマークのＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ総合指数に追随する運用を継続してまいります。

お知らせ

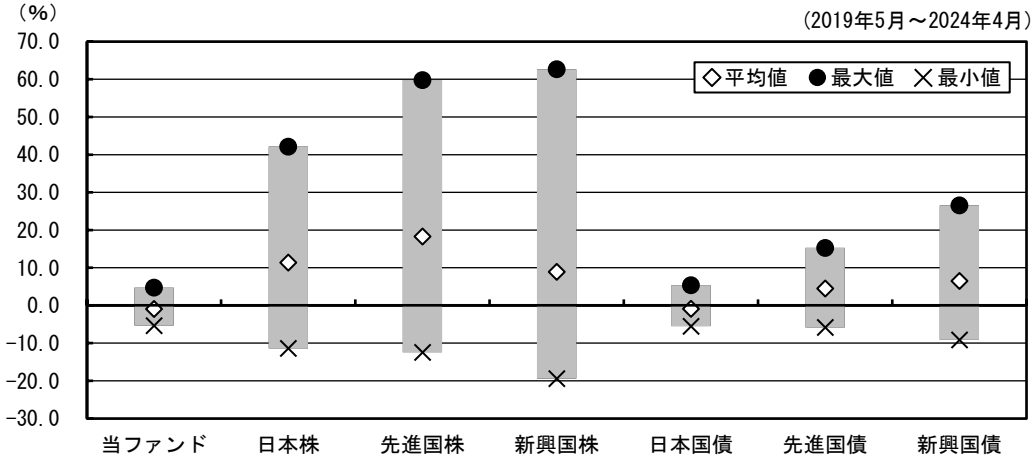
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／債券／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	ベンチマークの動きに連動する投資成果を追求することにより、中長期的に投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	日立国内債券インデックスファンド	次の日立国内債券インデックスマザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	日立国内債券インデックスマザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	日立国内債券インデックスファンド	株式への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10％以内、外貨建資産は、10％以内とします。
	日立国内債券インデックスマザーファンド	株式への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10％以内、外貨建資産は、10％以内とします。
分配方針	期中には分配を行わず、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。	

（参考情報）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（%））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	△0.9	11.4	18.3	8.9	△0.9	4.5	6.5
最大値	4.7	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	26.5
最小値	△5.3	△11.4	△12.4	△19.4	△5.5	△5.8	△9.1

＊2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
＊各資産クラスの指数
日本株・・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債・・・JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

(注1) 海外の指数は、各指数を基に、日立投資顧問が計算したものです。また、為替ヘッジなしによる投資を想定して円換算しております。
(注2) 各指数等に関する著作権等の知的財産権は、開発元もしくは公表元に帰属します(東証株価指数(TOPIX)：株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社、MSCI コクサイ・インデックス及びMSCI エマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、NOMURA-BPI 国債：野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社、FTSE 世界国債インデックス：FTSE Fixed Income LLC、JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド：J.P.Morgan SecuritiesInc.)。なお、各社は当ファンドの運用に関し一切責任を負いません。

当該投資信託のデータ

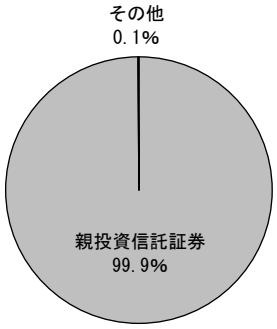
当該投資信託の組入資産の内容

●組入(上位)ファンド(銘柄)

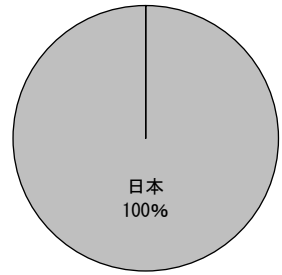
	第23期末
	2024年5月15日
日立国内債券インデックスマザーファンド	99.9%
その他	0.1%

(注) 組入比率は純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

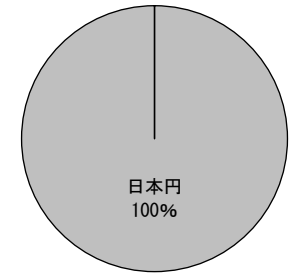
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

純資産等

項目	第23期末
	2024年5月15日
純資産総額	12,014,029,357円
受益権総口数	10,008,540,503口
1万口当たり基準価額	12,004円

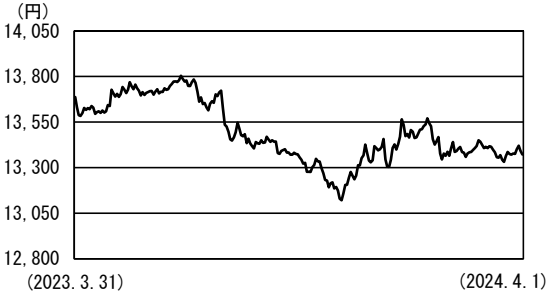
(注) 当期中における追加設定元本額は1,896,092,466円、同解約元本額は2,502,598,104円です。

組入上位ファンド(銘柄)の概要

日立国内債券インデックスマザーファンド

(2024年4月1日現在)

●基準価額の推移



●上位10銘柄

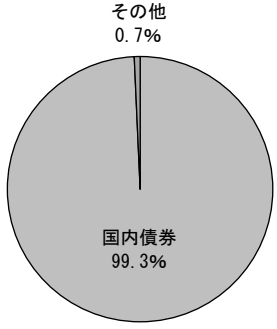
銘柄名	債券種別	比率(%)
第361回利付国債(10年)	国債証券	1.17
第149回利付国債(5年)	国債証券	1.12
第360回利付国債(10年)	国債証券	1.09
第362回利付国債(10年)	国債証券	0.91
第153回利付国債(5年)	国債証券	0.90
第359回利付国債(10年)	国債証券	0.87
第453回利付国債(2年)	国債証券	0.85
第344回利付国債(10年)	国債証券	0.84
第150回利付国債(5年)	国債証券	0.83
第363回利付国債(10年)	国債証券	0.83
組入銘柄数	369銘柄	

●1万口当たりの費用の明細

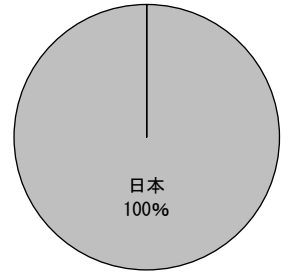
(2023年4月1日～2024年4月1日)

項　目	金　額	比　率
その他費用	0円	0.000%
(そ　の　他)	(0)	(0.000)
合　計	0円	0.000%

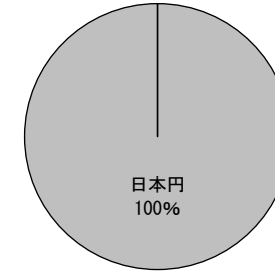
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年4月1日現在のものです。
(注2) 1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のものです。また、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。費用項目については前掲「1万口当たりの費用明細」の「項目の概要」をご参照ください。
(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
(注4) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。